

東日本大震災 復興技術支援フォーラム

— 国連防災世界会議に向けて —

東北地方に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から3年半がたちました。これまで、国や地方自治体、企業、大学、関係団体などの産学官が一体となって復旧に取り組んできましたが、レジリエント(しなやかで強い)な国土の形成には、さらに先進的な技術の開発が求められています。平成27年3月には仙台市を会場に第3回国連防災世界会議が開催され、国内外の多くの専門家が世界の防災・減災に東日本大震災の経験をどう活かしていくべきかを分野の垣根を越えて議論していくこととなります。この会議を実り多いものにするためにも、東日本大震災復興技術支援フォーラムは第一線研究者の成果や開発技術を基に、災害に強い次世代社会の方向性を探ります。

平成26年**10月1日**(水) 13時~16時30分
ウェスティンホテル仙台 2階グランドボールルーム
宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1

入場無料

定員300名
(お申込みが必要です。)



プログラム

☑ 基調講演 13:00~14:00

「動く地球の測量 ~地震予測への新しいアプローチ」

講師:公益社団法人日本測量協会 会長 村井 俊治 氏

☑ 技術開発発表 10題(裏面参照) 14:00~16:30

村井 俊治 むらい しゅんじ

昭和14年生まれ、東京都出身
東京大学土木工学科卒業
東京大学名誉教授
(株)地震科学探査機構顧問

測量、写真測量、リモートセンシング、GIS、GNSSなどジオインフォマティクス(空間情報工学)が専門。2002年から現在まで電子基準点を使った地震予測を研究し、マスコミ等で話題。



お申込み

氏名、ご住所、電話番号、FAX番号、所属団体名、参加人数を明記のうえ、
技術支援フォーラム係(河北新報社企画事業部内)へFAXまたはメールにてお申込みください。

9月18日(木)締切

FAX

022(211)1221

e-mail

j-oubo2@po.kahoku.co.jp

お問い合わせ: 河北新報社企画事業部 TEL.022(211)1332 (平日9:30~17:30)

※ご記入いただきました個人情報は、抽選ならびに聴講券発送のみに使用します。 ※申込多数の場合は抽選とし、聴講券の発送をもって発表に代えさせていただきます。

主催:河北新報社/一般社団法人東北地域づくり協会/東日本大震災復興技術支援フォーラム実行委員会(日刊建設工業新聞社、日刊建設通信新聞社、日刊建設産業新聞社、建設新聞社)
後援:国土交通省東北地方整備局/宮城県/東日本大震災に関する東北支部学術合同調査委員会/公益社団法人土木学会東北支部/公益社団法人地盤工学会東北支部/一般社団法人日本建設業連合会東北支部/東北建設業協会連合会/公益社団法人日本技術士会東北本部/公益社団法人日本コンクリート工学会東北支部/一般社団法人建設コンサルタント協会東北支部/一般社団法人日本建設機械施工協会東北支部/一般社団法人日本橋梁建設協会東北事務所/一般社団法人東北測量設計協会/東日本高速道路株式会社東北支社/特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会

東日本大震災復興技術支援フォーラム 発表テーマ一覧

※発表順は変更される場合がございます。また、当日の発表者は未定です。

<p>1 「震災廃棄物混入土の有効利用のための 実施工に対応した強度品質評価」</p> <p>東北大学大学院 風間 基樹(教授) 三菱マテリアル株式会社セメント研究所</p>  <p>風間 基樹 教授</p>	<p>2 「緊急津波避難情報システムの 実運用化に向けた実践的研究」</p> <p>東北大学災害科学国際研究所 今村 文彦(教授) 東北大学大学院 寺田賢二郎(教授) 弘前大学大学院 有賀 義明(教授) 東京大学地震研究所 堀 宗朗(教授) NPO法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会 大保 直人 一般社団法人東北地域づくり協会</p>  <p>今村 文彦 教授</p>
<p>3 「東日本大震災津波後の河口地形の 回復過程とその将来予測」</p> <p>東北大学大学院 田中 仁(教授) 東北大学災害科学国際研究所 真野 明(教授)</p>  <p>田中 仁 教授</p>	<p>4 「海砂(浚渫土砂)の有効利用のための 除塩技術の開発」</p> <p>石巻専修大学 高崎 みつる(教授) 大成建設株式会社東北支店/株式会社ニュージェック 株式会社データセントリック/セメダイン販売株式会社 昭和電工株式会社</p>  <p>高崎 みつる 教授</p>
<p>5 「橋梁の津波対策のための フェアリングに関する研究」</p> <p>八戸工業大学 長谷川 明(教授) 株式会社長大仙台技術部</p>  <p>長谷川 明 教授</p>	<p>6 「東日本大震災アーカイブ(みちのく震録伝)を 利活用した防災・減災に係る社会技術開発」</p> <p>東北大学災害科学国際研究所 佐藤 翔輔(助教) 東北大学災害科学国際研究所 今村 文彦(教授) 柴山 明寛(准教授)/今井健太郎(助教) 菅原 大助(助教)/保田 真理(助手) 復建調査設計株式会社/株式会社博報堂 株式会社東北博報堂/アジア航測株式会社 株式会社NHKメディアテック/ロジー マルティス株式会社/一般社団法人東北地域づくり協会</p>  <p>佐藤 翔輔 助教</p>
<p>7 「東日本大震災後の 道路網復旧・復興システムの開発」</p> <p>日本大学 堀井 雅史(教授)</p>  <p>堀井 雅史 教授</p>	<p>8 「コンクリート構造物の電気防食の 補修効果定量化手法の開発」</p> <p>東北大学大学院 皆川 浩(教授) 住友大阪セメント株式会社</p>  <p>皆川 浩 教授</p>
<p>9 「東日本大震災の被害分析による 既設造成地盤の地震時安全性評価指標の開発」</p> <p>公益社団法人地盤工学会東北支部(東北学院大学) 飛田 善雄(教授)</p>  <p>飛田 善雄 教授</p>	<p>10 「汚染されたバイオマスのメタン発酵による エネルギー利用の研究開発」</p> <p>特定非営利活動法人再生可能エネルギー推進協会 佐藤 茂夫氏、篠田 淳司氏 日本大学大学院 野池 達也(教授) 日本工業大学 佐藤 茂夫(教授) 下小国地区協議会</p>  <p>佐藤 茂夫氏</p>

主催

河北新報社
一般社団法人東北地域づくり協会
東日本大震災復興技術フォーラム実行委員会

お問い合わせ

河北新報社企画事業部 TEL.022(211)1332



公共交通機関の
ご利用をお勧めします。

- ・地下鉄南北線仙台駅から徒歩約6分。
- ・JR仙台駅西口から徒歩約9分。
- ・JR仙石線あおば通駅から徒歩約8分。

